# 水戸教育事務所だより

「教育の MVP を大切に！」 ～Mission Vision Passion～

第 2 号

2025 年 4 月 23 日

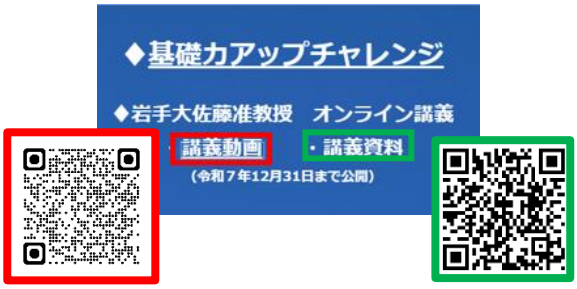

## 学力の向上に向けて

◎学校における学習指導に係るＲＰＤＣＡサイクルを確立し、児童生徒の学力向上を図る。

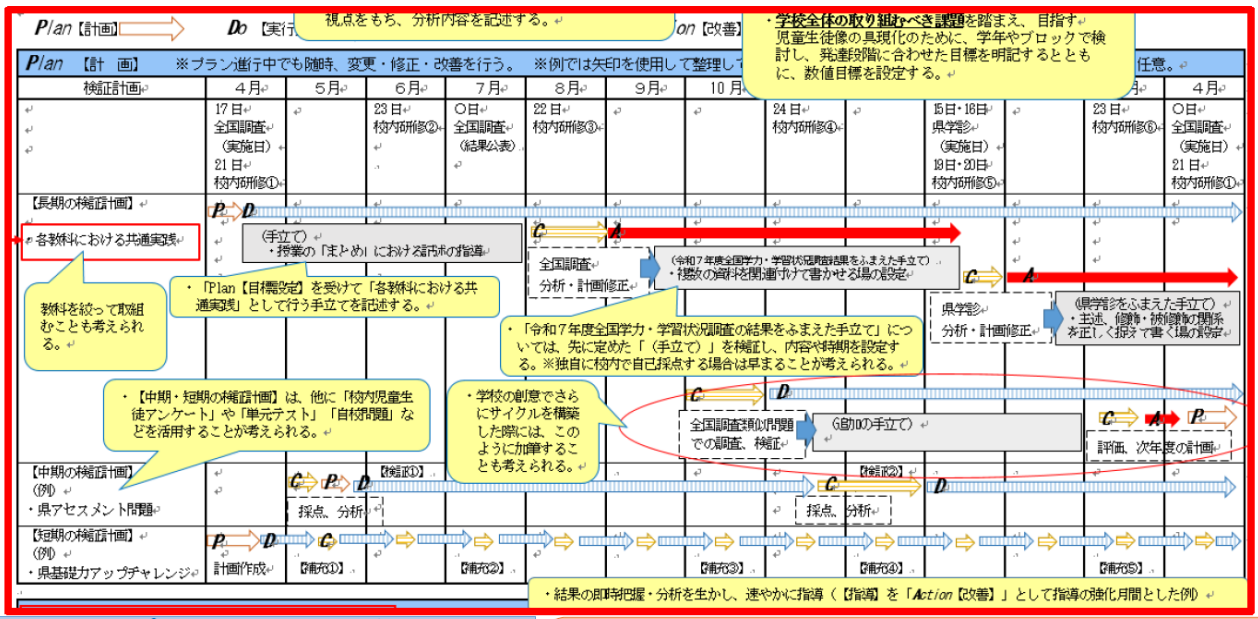
### 実効性がある、全職員で取り組める「学力向上プラン」を！

実効性のある「学力向上プラン」にしていくために、まず必要なことは、自校の Research【実態把握】&Plan【目標設定】の検討です。各種調査や日頃の生活、授業の様子から見える児童生徒や自校の課題を様々な視点から分析し、的確な実態把握を進めることが学力向上に向けた第一歩となります。

その一助となるのが、昨年度末に示された「教育データ利活用に関するオンライン勉強会」での動画や資料です。ぜひご活用ください。




「学力向上プラン」は、担当のみならず、様々な立場の教職員全てが関わって作成していくことがポイントです。協働によりプランを構築することで、学力向上に向けた共通理解が図られ実効性が伴っていきます。作成後は全職員の閲覧を可能にし、進捗状況を随時確認するとともに、プランの変更・修正・改善を進めます。プランの共有については、PC の活用の他、職員室での掲示による可視化が効果的です（Plan【計画】や Do【実行】のみの掲示等、配慮が必要）。工夫をしながら、進捗状況を相互にチェックし、より実効性がある学力向上プランにしていきましょう！




学力向上プランをgoogleﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ等で共有する。⇒全職員で作成・閲覧できるようにし、プラン進行中も随時、変更・修正・改善を行う。

職員室にPlan【計画】やDo【実行】の部分掲示
・可視化→全職員で共有する。
・進捗状況をチェックする。
（実行した部分は二重線を引く）